

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

687-728

事務事業名	まちかど博物館・フィルムコミッション事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	教育委員会	課等名	生涯学習・スポーツ課		包含する細々目	1	10	5	1	13	1	200
政策	6 地域の自然・歴史・文化を活かし続けるまちづくり											
施策	62 地域資源の資産化											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	事業期間		19	年度～	年度	関連計画条例等	

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	市民 中心市街地店舗(職人系) 市内自然・歴史的建造物等	飯田市の人口(人) (H18.10.1推計人口)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			107844	107000			
		店舗及び建造物数:件	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
			3	15			
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	中心市街地職人系店舗へのミニ博物館の設置 自然・歴史的建造物・まちなみ等を活用して映画等のロケ誘致を行う。市民組織がこれを支えるシステムを創りだす。	まちかど博物館設置数:件(累計)	18目標	4	最終目標	20	
			18実績	3	19目標	6	↑
		映画等のロケ数:件	23目標	20	23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標	10	
18実績		1	19目標	1	↑		
23目標		10	23実績		最終目標達成年度		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	中心市街地の専門店や職人系店舗の展示スペースを確保し、ミニ博物館の設置する。これらの博物館は中学生等のインターンシップ(職業体験)の受け先とする。平成18年度把握した中心市街地の職人系店舗や事業所は約30ほどである。また、同時に職人へのインタビューを実施したが、中には、その技術が良い物を長く使い続けるスローライフを支えるものであり、環境文化都市に合致したものもある。職人の魂を子供たちの心に刻むことは、モノづくりの心を育成し、職人には自信と誇りを回復させることにつながる。 また、自然・歴史的建造物・まちなみ等を活用して映画等のロケ誘致を行う。これは地域の町並みや農山村の景観等の地域資源を活用して、飯田の情報発信をすることにつながるが、もう一方で、市民の皆さんが地域の資源の素晴らしさを再認識することにつながる。市民組織がこれを支えるシステムとする。	まちかどモノづくり博物館の設置を行う。	まちかどモノづくり博物館数	3件
		まちかどモノづくり博物館の設置を行う。職人入門プログラムを実施する。 市民映画誘致組織フィルムコミッションの設立。 地域資源を活用した映画等のロケ誘致を行う。	まちかどモノづくり博物館数 職人入門プログラム ロケ誘致数	6件 3件 1件

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	200	200
事業費計(A)		200	200
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	200	200

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	価値が顕在化され高まる。 地域資産が認知される。	活用できる状態の整った地域資産の数	現状値	436	19実績	
			20実績		21実績	
	地域資産を知っている市民の割合	地域資産を知っている市民の割合	22実績		23目標	520
			現状値	41.8	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	50	

この事業を開始したきっかけ 地育力向上連携システム推進計画に基づく、キャリア教育推進とモノづくりの心育成のための中心市街地の職人系店舗の活用。地域資産の活用を促進し、同時にその価値を市民の皆さんの意識にもっていただくためには、ロケ地としての誘致活動を支える市民組織づくりが有効である。	事業を取り巻く状況の変化 地育力向上連携システム推進計画の公表を経て、その関心の高まりが顕著である。また、職人の後継者不足は、今後のモノづくりの心の育成に隘路となる可能性がある。中心市街地の空洞化が顕著であり、またの活性化にも一役買うことができる。	事業に対する市民や議会の意見 職人系の事業所からは、まちかど博物館としての活用に自身と誇りの回復につながるなどの歓迎の声が商工会議所サイドからも出ている。
---	---	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 具体的な地域資産の活用を意図している。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がない (その理由) 平成18年度地育力向上連携システム推進計画策定。19年度が本格開始である。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 平成18年度地育力向上連携システム推進計画策定。19年度が本格開始である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 資産の有効活用策の選択肢が狭まる。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 平成18年度地育力向上連携システム推進計画策定。19年度が本格開始である。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 関連事業あり (類似事業名、理由) 飯田観光協会はロケ地の情報発信を事業計画に盛っており、この事業では生涯学習の側面から、その人的なサポート体制を市民運動として作るうとするものであり、観光協会とは密接な連携が必要となる。観光協会は情報発信、具体的な受入れは市民組織という役割分担が可能である。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) まちかどモノづくり博物館は、インターンシップと資産の活用の両面を意図しており、推進役に市が適当である。フィルム・コミッションは設立に市が開くがその後は市民中心に運営する。		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 平成18年度地育力向上連携システム推進計画策定。19年度が本格開始である。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 平成18年度地育力向上連携システム推進計画策定。19年度が本格開始である。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) フィルムコミッションは市民主体の運営体制とする。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 <input type="text"/> 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由	
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？			

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	